



沖縄人民党の日本共産党への 合流40周年記念集会

高まる 期待

と き：10月31日（木）

午後6時～

ところ：那覇市民会館中ホール

会費：1000円 主催：党沖縄県委員会

古堅実吉氏の「講演」は沖縄人民党の歴史、日本共産党に組織的に合流し発足した日本共産党沖縄県委員会の40年のあゆみをふりかえり、党の綱領路線と沖縄県党の役割、値打ちを鮮明にし、党への誇りと確信をあたえます。みんなに声をかけ、お誘い合わせて参加し、質量とも強く大きな党づくり、安保・基地なくすたたかい、糸満市議選、名護市長選、一斉地方選挙を勝ちぬく力にしましょう。

◆ 1部 「記念講演」

沖縄県日本共産党
後援会 代表委員

古堅実吉

沖縄人民党書記長、立法院議員、県議、日本共産党
沖縄県委員会委員長代理、衆議院議員を歴任。84歳



◆ 2部、交流会・文化行事

◆ 沖縄人民党の合流を承認した日本共産党第12回党大会（1973年11月）の決議

第3章党建設の諸任務—14【沖縄人民党の合流と沖縄県における党建設】では、「長期にわたってアメリカ軍の圧政のもとでたたかいぬいてきた沖縄県民のあいだには、民族の真の独立と民主主義達成への大きなエネルギーがうずまいている。大多数の沖縄県民とたたかむすびついた、強大な党県委員会と県党組織を急速につくりあげることは、わが党に課せられた急務である。・・・党は、沖縄に強大な党を建設し、沖縄をアメリカ帝国主義の日本の侵略の拠点から、日本人民解放のたたかひの拠点にするために奮闘することが重要である。」と沖縄県党発足にあたっての責務を明確に規定している。

黨員、後援会員、「赤旗」読者、支持者をお誘い合わせて成功させよう。
糸満市議選—ウラサキ暁・菊地キミコの必勝へ支援を強め必ず勝ちぬこう！

【沖縄人民党が日本共産党に合流した経緯】

沖縄人民党は1947年7月20日、アメリカの軍政下に、日本共産党が公然と活動できない条件のもとで、ポツダム宣言の趣旨にそった民主主義の確立をめざして石川市で創立されました。1952年3月第1回立法院議員選挙で瀬長亀次郎氏が当選、琉球政府の創立式典で宣誓拒否。1954年9月、又吉一郎氏が豊見城村長に当選。その直後、米軍政府によって、又吉一郎氏、瀬長亀次郎氏など黨員、支持者が40名をこえて逮捕され投獄される沖縄人民党弾圧事件が起きる。1956年、瀬長亀次郎書記長が那覇市長に当選。翌年、米軍により追放されますが、人民党は弾圧に屈せず、1960年11月、古堅実吉氏が小選挙区の立法院議員選挙に当選。1961年11月、上原亀一郎氏が糸満町長に当選。1962年1月23日、機関紙「人民」創刊号を発行、さまざまな妨害をはねのけ、黨員の総力と本土民主勢力の支援により短期間に「あけぼの印刷所」を建設し、印刷体制を確立。祖国への真の復帰、軍事基地の撤去、県民の生活擁護のために、大衆的な民主的政党として不屈にたたかい、1968年11月の「琉球政府」主席選挙では、革新共闘会議がつくられ、屋良朝苗主席を実現するまでになり、革新・民主勢力の共闘で革新自治体を拡大しました。

沖縄人民党をはじめ沖縄と本土の民主勢力は1963年以来毎年、サンフランシスコ条約が発効した民族屈辱の日の4月28日、北緯27度線上で沖縄返還要求海上大会をひらくなど連帯をつよめました。1970年4月には、日本共産党国会議員の春日正一議員団総会長と林百郎衆院国対委員長が渡航の権利を勝ちとり初めて公然と沖縄の土をふみました。日本共産党はこれ以後、沖縄現地でも、沖縄人民党と提携したたたかひを積極的にすすめて、1970年11月の国政参加選挙では、沖縄人民党と革新統一勢力の勝利のために奮闘、1971年8月には、沖縄で最初の「人民大学」を、沖縄人民党との共催でひらき、9月1日には、「赤旗」の即日配達体制を確立しました。

たたかひを通じて、沖縄人民党は、日本共産党との連帯をいっそうつよめていきました。

1972年5月15日、沖縄の「施政権」返還という新段階をうけて、沖縄人民党は7月の中央委員会総会で、「科学的社会主義の党へ発展前進する」ことを決定し、組織的合流のための準備をすすめます。その年の6月の県議選挙で沖縄人民党は6議席に躍進。7月20日の創立25周年記念式典では、宮本顕治日本共産党委員長があいさつ。12月の総選挙では、沖縄人民党候補（日本共産党推薦）の瀬長亀次郎氏をふくめ日本共産党・革新共同は40議席に躍進。合流直前にたたかわれた1973年7月の那覇市議選挙では8議席に躍進しました。

こうして、沖縄人民党は1973年10月31日、臨時党大会をひらいて、26年3ヵ月11日にわたる活動をしめくくり、日本共産党への合流を決定しました。新発足の日本共産党沖縄県委員会の初代委員長には、瀬長亀次郎氏、副委員長に古堅実吉氏がつき、戦前、戦後をつうじてはじめて日本共産党の旗が沖縄に公然とひるがえったのです。

同年11月の日本共産党の第12回大会は、瀬長亀次郎氏を中央常任幹部会委員・党副委員長、古堅実吉氏を幹部会委員、上原清治氏を中央委員に選出しました。

黨員・「しんぶん赤旗」をふやし、沖縄県党発足の記念日10月31日を祝いましょう。 日本共産党南部地区委員会ニュース10月28日 電話：860—9734